

北秋田市保育園等の在り方に関する提言書  
(抄)



平成 25 年 5 月

北秋田市保育園等の在り方検討委員会

## はじめに

核家族化、労働・雇用形態の変化により、保育に対するニーズも多様化している。また、当市では、定数割れの保育園が多数ある一方、待機児童も発生している。子育て支援の方策を、官民一体となって真摯に検討しなければならない。

本委員会は、限られた時間の中で、重要課題について議論を重ねてきた。まずは現状を分析し、認識を共有することから始めた。保育園を巡る諸課題は、当市に限ったものではなく、全県・全国的なものであることが明らかになった。市財政多難の折、国・県の施策に期待するところは大きいであるが、これらは待ったなしの課題であり、市としての明確な方針を打ち出し、大胆な独自の施策を展開する必要があると思われる。

ここに『北秋田市保育園等の在り方に関する提言書』を提出する。

### 提言1 保護者のニーズについて

多様化する保育ニーズを把握するため、常に保護者の意向、地域の状況などについて調査を行い、その結果を公表するとともに、子ども・子育て支援新制度の動向を見据えながら、具体的な方策を速やかに検討すべき。

### 提言2 特別保育事業について

特別保育事業へのニーズは、拡大し多様化している。子育て世代が、働きながら、産み育てができるよう対応すべき。保育園だけでなく、様々な施設・団体と連携しながら、地域全体で子育て支援ができる体制を整えるべき。

民間保育園に対しては、特別保育事業等に対する今以上の支援を検討すべき。

### 提言3 保育料について

保護者の負担軽減のため保育料の見直しを行い、階層区分を細分化すべき。

### 提言4 公立保育園の通園バスについて

合併前の経緯もあり、通園バスは即時に廃止等はすべきでないが、利用実態等を把握し、運行の在り方について再検討を要する。公平性確保の観点からは、若干の利用者負担も考慮すべき。

#### 提言5 保育の質の向上、保育士の確保について

保育の質の維持向上のため、保育士の研修体制の整備は継続して取り組むべき課題である。また、多様化する保育ニーズに対応するためには、時代に即した専門的研修も導入すべきである。

保育士確保は、全国的な課題となっており、抜本的な対策が必要である。人口減少と少子化進行の中で、多くの保育士を正職員として採用することは困難かもしれないが、待遇改善、柔軟な勤務体系の確立などにより喫緊の課題である待機児童解消、様々な保育ニーズへの対応が求められる。前例にとらわれることなく、新たな勤務体系を模索して欲しい。

#### 提言6 公立保育園の効率的運営について

全国的にも公立保育園の民間移管が進んでいる。当市においては、歴史と実績を有する民間保育園が複数存在する。保護者の代表は「保育の質に差がないのであれば、公立・私立にはこだわらない」という意見だった。

公立保育園のうち可能なものについては、民間法人と十分な協議を行った上で、速やかに民間移管を検討すべきである。経過的措置としての「指定管理者制度」も選択肢の一つではある。

児童数の減少により、少人数保育となっている保育園については、地域の実情等に十分に配慮し、時間をかけて保育の在り方を検討すべきである。また、地域の高齢者施設、児童クラブ等への併設も検討課題と思われる。

なお、全ての公立保育園を民営化するのではなく、直営の公立保育園を残すべき、という意見もあったことを付け加える。

#### 提言7 各保育園の現状について

今後、各保育園の老朽化が進み、大規模修繕・改築などの投資が必要になる。これらについては、民間法人によらなければ国・県の補助は得られない。従って、このためにも、公立保育園の民営化が有効である。しかしながら、法人の自己資金も必要となることから、市からのさらなる助成も検討すべきである。

## おわりに

全6回の検討委員会では、それぞれの委員から貴重な提言がなされた。現状を打破し、活力ある地域社会を築くためには、子育て環境の整備が重要であるという共通認識に至った。

公立保育園の民営化については、保育の質の維持・向上が担保されるのであれば公立・民間は問わないということで、特に異論はなかった。

民間保育園の実情についても報告がなされたが、その経営状況はいずれも厳しいもので、今まで以上に公的な支援が求められている。

公立保育園と私立保育園の入園児に、受けられる公的サービスの格差があるてはならない。園児の安全・安心を確保するための措置は、平等であるべきである。

今後、市の財政もまた厳しさを増すと思われるが、一層の効率的行政運営を推進するとともに、子育て施策に対しては積極的な投資を期待する。

本提言を踏まえ、実効ある施策がスピード感を持って展開されることを切望する。

平成25年5月27日

北秋田市保育園等の在り方検討委員会

会 長 佐藤 修助